

支部協議だより

第25号

発行所

NTT労組退職者の会
沖縄県支部協議会
沖縄県浦添市城間4-35-2
☎098-870-7101
Fax098-875-7450

責任者
黒島善市

年頭の挨拶

会長 黒島善市



新年紀、
明けましておめでとうご
ざいます。

二十世紀は戦争と環境破
壊をともなう開発の一〇〇
年でした。そして私たちは
このような厳しい世紀を生
き抜いてきました。

二十一世紀初の新年を、
皆さんはどのような感慨を
持つお迎えになられたの
でしょうか。

昨年は、私たちに直接関
係する年金や、介護保険制

度の実施など、政府与党の
数の力で押し切られてしま
いました。

今年も新年早々、一月か
ら医療保険制度が改悪され、
七十歳以上の方の医療費が
一割負担となるなど、高齢
者にとってますます生活が
苦しくなってきました。

私たちは昨年の第二回定
期総会で、二十一世紀が平
和で幸せな時代になること
を心から願い『安心・信頼、
生きがいあふれる二十一世
紀、皆と一緒に!』のシン
ボルフレーズを合言葉に、
その実現に向け取り組むこ
とを誓いました。

NTT労組も宮城健一現
浦添市長の再選を期して奮
闘しています。

今年十二月十九、二十日
の二日間の日程で、熱海市
の後楽園ホテルで第二回支
部協議会代表者会議が持た
れた。

これは第二回総会決定条
項をどのように具体的に対応
策をとるか、協議、確認す
る会議であった。各都道府
県からの代表四十七名と中
央協から七名が出席、活発
さいます。

この選挙の大きな争点は
軍港問題です。市の十五ペー
ントが米軍のキャンプキ
ンザー（牧港補給基地）に
奪われて五十五年がたちま
で社会参加をしていくの
か。老いとは単なる弱者で
はありません。豊富な知恵
と経験の所有者であること
を自覚し、自立と生きがい
を求めて堂々と前に出て行
こうではありませんか。

今年は選挙も控えていま
す。二月十一日投票の浦添
市長、市議選挙。七月には
那覇市議選挙、国会議員選
挙が実施されます。

今、軍港が建設されると
キャンプキンザーと一体と
なり機能強化され、半永久
的に軍事基地となるでしょ
う。沖縄の自立経済は遠の
く最後になりましたが、皆
様をはじめご家族のご健勝
とご多幸を祈念申し上げ、
新年のご挨拶といたします。

そして情報労連を取り巻
く歴史を再認識し、連帶
名が参加し、若い組合員と
おります。

この浦添市長選挙に勝利し、
その勢いを七月の那覇市議
選挙に立候補予定していま
すNTT労組DO分会の玉
城彰さんの必勝に向け、強
力に取り組みたいと思って
おります。

一月十一日(木)情報労
連・県協の旗開きが「プラ
ザでいご」で、午後六時か
ら開催された。

私たち退職者の会から四
名が参加し、若い組合員と
懇談した。

そして情報労連を取り巻
く歴史を再認識し、連帶
名が参加し、若い組合員と
懇談した。

一月十一日(木)情報労

連・県協の旗開きが「プラ
ザでいご」で、午後六時か
ら開催された。

私たち退職者の会から四
名が参加し、若い組合員と
懇談した。

一月十一日(木)情報労

連・県協の旗開きが「プラ
ザでい

那覇市議選 玉城アキラ当選に向けて



来たる七月に、那覇市議会議員選挙があり、

玉城アキラ君がNTT労

組、組織内候補として、

日夜頑張っています。

また、退職者の会とし
ても全面的に玉城君勝利
の為に協力することになっ
ており、黒島会長を先頭
に頑張っているところで
す。

会員の皆さん、アキラ
君を勝利させることがN
TTの安定、NTT労組
の力、我々退職者の会の
福祉の向上につながると
信じています。

那覇市在住の方は勿論、
那覇市外の方でも、知人
友人を思い出し、玉城ア
キラ君の勝利の為に一票
でも多く応援して頂ける
様お願い致します。

皆さんの温かい気持ち
が一番の力になることと
思います。

東恩納 盛正

定例グランドゴルフ大会

今年度初のグランドゴ

ラッキー賞

ルフ大会は参加者十三名

黒島善市 四九

(年末は十七名)により

ブービー賞

一月六日土曜日、中央公

屋良朝孝 五二

園で賑やかに行なわれた。

当団は、あいにく学校

※毎月第一、第三土曜日

が休みのため、私たちが

の午後一時半スタート

許可を得て通常使用して

で楽しんでいます。道

いる多目的広場は、中学

具はありますので、お

生、小学生のキャッチボール

気軽にご参加下さい。

すぐ隣りの通路をはさん

だ変化のある場所での開

催となつた。

その中で、花城隆さん
がホールインワンを二回

も出すなど、他を圧倒し

優勝した。

結果は次の通り。

優勝

スコア

準優勝

花城 隆 三六

島袋常光 四五

新垣 富子

三等賞

神谷厚秀 四六

八重岳へいつもながらに足運ぶ睦月は桜愛にし花を
如月の寒さの中に蘭香る見とれてしまし佇みており
春立ちて弥生はつづじ東村色あざやかに森賑いて
風わたる海は青々子供らは波打ち際で波と遊びぬ

